

要 約

発振波長650nmの半導体レーザと発振波長780nmの半導体レーザとが1チップに集積化された2波長モノリシックレーザをヒートシンク上に半田付けし、さらにこれらをキャンパッケージ上に半田付けすることにより、半導体レーザ素子を構成する。半導体レーザ素子の2つの発光点を、2つの半導体レーザからの出射光の光ディスク上におけるビームスポットが光ディスクのビット列方向に沿ってほぼ並ぶように構成する。これにより、光学特性や記録密度の異なる光情報記録媒体に情報を記録し又はそれらの光情報記録媒体に記録された情報を再生することが可能で、しかも、トラッキングサーボ動作が不安定になることのない光学式ヘッド装置及び光学記録再生装置を実現することができる。